

# 多様性愛した英国の桜守

一気に咲き1週間ほどで散る日本のソメイヨシノと異なり、英国ではさまざまな桜が次々と開花し、2カ月以上も楽しめるという。英国在住のジャーナリスト、阿部菜穂子さんは、この礎を築いた園芸家の足跡を「チェリー・イングラム 日本を救ったイギリス人」（岩波書店・2484円）にまとめた。一時帰国した著者に、桜を巡る英国と日本の物語について話を聞いた。

## 「チェリー・イングラム」著者・阿部菜穂子さん

### ●2カ月近く楽しむ

英国では3月末から5月半ばまで白、ピンク、紅などのさまざまな品種の桜が次々と

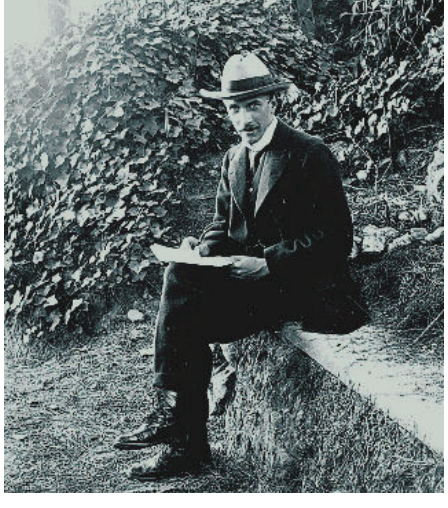


阿部菜穂子さん

咲き、長い期間楽しむことができるという。

「卒入学式のころ、一斉に咲き一斉に散る日本の桜との違いに驚きました。英国の桜の多様さはどこからきているのか、素朴な疑問がわいてきました」。阿部さんは取材のきっかけをこう語る。

英国の公園、庭園には桜並木があり、各家の庭にも小さぶりな桜は植えられている。晴



25歳のころのイングラムさん  
イングラム家提供

れ間がほとんどない重苦しい長い冬が終わり、春の訪れを告げる花として、多くの人に愛されています」

そこで英国に桜がどのようになつたのかを調べ始めたところ、コリンウッド・イングラムさん（1880～1981年）という園芸家と出会った。1902年、21歳の時に初来日し、人と自然が調和した日本の景観、特に「あふれるような濃い緑の葉に包まれた木々のなかの桜」の美しさに胸を打たれたという。以来2回訪日し、100種以上の桜を英国で育て、日本の

桜の専門家として「チェリー・イングラム」と呼ばれるようになったという。

阿部さんはイングラムさんの孫夫妻を訪ね、自筆の手紙、日記、桜の資料などからイングラムさんの桜への思いに直接ふれることができたという。

「彼は関東大震災や近代化の波により、多種多様だった桜が均一化されていく日本の様子を嘆いていました。日本人は将来、伝統の桜を英国や米国で探すことになるだろうと皮肉っているほどでした」

### ●日本に戻った太白

明治政府は、成長が早く見栄えのいいソメイヨシノを植樹し、それは全国へと広がっていった。

日本で絶滅したと言われていた「太白」という桜は1932年、日本の桜守とイングラムさんの努力により日本に戻ってくることができたという。

「桜には1000年以上におよぶ歴史があり、江戸時代までは、多種多様な桜が咲いていました。それが近代化と

ともにソメイヨシノ一色になり、戦争への道具だとしても使われるようになってしまった。ひとつの価値観しか認めない社会は間違った方向に向かうこともあります。桜の多様性の大切さを、今さらながら実感しています」と阿部さんは話す。

### ●多彩な風景復活を

多様な桜を復活させようという動きにも触れている。東京都足立区では「荒川堤の五色桜」を再現しようという住民運動が起こっている。静岡県河津町の「河津桜並木」は、オオシマザクラとカンヒザクラの自然交配によってできた新たな桜で、観光名所になっていることなど。

「イングラムの最大の功績は英国に多様な桜を根付かせたことだと思います。私たち日本人も多彩な桜の風景をもう一度、取り戻せたらいいなあと思っています」

桜便りは北上し続け、そろそろ終わりに近づいてきているが、日本から英国に渡った多彩な桜に思いをはせてみるのも楽しい。【小川節子】



日本に戻ってきた「太白」＝旧イングラム邸「ザ・グレンジ」で、阿部さん撮影

## 支援金など申請に「罹災証明書」



自然災害の被災者が公的な支援金や税・保険料の軽減措置を受けるには「罹災証明書」が必要になる。地震、津波、洪水などによる住宅の被害を市町村長が証明する書類。基本的に全壊、大規模半壊、半壊を認定するが、自治体によっては一部損壊や床下・床上浸水も認定する。

罹災証明書は、被災者生活再建支援金の受け取り▽応急仮設住宅入居▽公営住宅入居▽税・社会保険料の軽減措置▽住宅を再建する際の融資（災害復興住宅融資）などに必

要になる。地震保険の申請に罹災証明書は必要ない。

熊本地震では、熊本市が既に申請受け付けを開始した。熊本市の場合には被害状況を撮影した写真と申請書を提出する。一部損壊は写真だけで発行するが、半・全壊は現地調査が必要になる。東日本大震災の際には罹災証明書の発行が遅くなる自治体があり、復興に支障をきたしたため、国は今回、市町村に早急に発行するよう促している。

罹災証明のほかに、人的物的被害を証明する「被災証明書」を発行する自治体もあるが、熊本市は当面は発行を予定していない。